

まち地域のかえ広場 No.3

町への思い、地域への思い、議会への思いを届けます。

高齢者も活躍し、町民全体で盛り上がる楽しいイベントを！



田辺 まなみさん
(70歳 浮漣在住)
今日は、給食ボランティア
で大活躍中です (令和6年
1月10日、保健福祉センター)

今、子育て世代の若者はとにかく忙しい。60歳代から70歳代の私たち、元気な80歳代には時間にもゆとりがあるのです、町の行事にもっともっと参加して町全体を盛り上げたいと思います。子どもからお年寄りまで多世代で楽しめる休日のイベントもおもしろいのでは…。忙しい親に代わり、おじいちゃん、おばあちゃん世代が活躍し、楽しいイベントで、町の活性化が図れたらいいなあと思います。コロナも明けたところで、心をひとつにして町民全体で盛り上がる企画をこれからも楽しみにしています。その際には、多世代に向けて、しっかりと宣伝(周知)をお願いしたいです。

現在私は、社会福祉協議会やあったかふれあいセンターで給食ボランティアとして、地域の皆さんへの食支援のお手伝いをしています。食べることは、人が元気になることに直結します。これからも私自身が人とのふれあいを楽しみながら、誰かのために、そして自分のために頑張っていきたいと思っています。

バスケットをしたい子どもや大人の楽しめる場所に！

社会人になつてから同級生で集まって「身体を動かしたい」と中学校の体育館でバスケットを始めた。

私以外は皆、バスケットは未経験だったが、仲間の声掛けで徐々に人が集まってきた。地元で職場が近く、恵まれた環境だったと思う。

2010年、佐賀小6年の子ども達が、バスケットをしたいというので、仕事の後、教えに行っていた。毎年、3月にある黒潮町のバスケット大会に出ようと一緒にやっていたが、東日本大震災で中止になった。その子たちが中3の時、先生に「どんな条件でもいいので、大会に出させて欲しい」と話をして大会に出た。全部負けたけど、彼らには、ウチで練習してきたことを証明する機会ができて、すごく良かったと思う。

私は、ここが子どもや大人と一緒にバスケットをやり、楽しめる場所になればと思う。52歳の今でも長く続けられ、楽しめるスポーツということを伝えていきたい。

働きながら30年もやっているが、体育館使用の申請手続きが煩雑なので簡素化し欲しい。



明神 亮太さん(左から2人目
52歳 明神在住)と練習仲間です
(令和6年1月12日、佐賀中体育館)

編集後記

新年になり、正月気分を満喫している矢先、テレビの画面からいきなり、能登半島の地震が飛び込んできました。

詳細が分かるにつれて津波の恐ろしさ、住宅の耐震化の重要性を感じました。被災した方々の不安を思うと、他人事ではないことを私たち町民は理解していると思います。

とにかく現在の防災対策を今以上に強化し、行政、町民が一体となって更に災害に強い町づくりに取り組んで行きます。

議会も気を引き締めて、頑張っていけます。
(澳本 哲也)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮川 徳光 |
| 副委員長 | 小松 孝年 |
| 委員 | 濱本 哲也 |
| 委員 | 濱村 美香 |
| 委員 | 水野 佐知 |
| 委員 | 山本 牧夫 |